単施設用

研究実施についてのお知らせ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成　30　年　　10月　　9日

【研究課題名】

結石性腎盂腎炎における排泄相CTの意義について

【研究期間】

倫理委員会承認日～2018年10月20日

【研究対象】

2005年1月から2016年10月までの期間において結石性腎盂腎炎で当院に入院した症例のうち排泄相CTを施行された症例

【研究目的・意義】

　結石性腎盂腎炎は迅速なドレナージが必要とされるが、全症例でドレナージが必要となるわけではない。どのような症例がドレナージを必要とするか未だ不明であり、当院では造影剤を用いて尿路閉塞を評価する手法を用いていた。本当にその手法が重症化を予測するのか評価する。

【研究方法】

結石性腎盂腎炎で入院した症例で排泄相CTを施行された症例を、造影剤の排泄相が腎盂内に見られた場合は閉塞なし、見られない場合を高度閉塞と仮定した。血液培養が陽性か陰性かで群別し、CTで見られる尿路閉塞が菌血症の危険因子となるのか評価する。

【研究に用いられる試料・情報の種類】

ID、年齢、性別、既往歴、併発疾患（免疫抑制剤の内服など）、PS(ECOG)、血圧、脈拍、呼吸回数、体温等、SIRSスコア、症状発現から救急室受診までの日数、quick Sepsis-related Organ Failure Assessment (qSOFA) スコア、入院日数、昇圧剤使用の有無、生存・死亡の有無。腹部造影CTで排泄相を施行された症例のうち7分以内の造影剤排泄の有無、結石サイズ（長径、短径）、血液学的検査（白血球数、好中球数、血小板数）、血液生化学検査（血清クレアチニン、総ビリルビン、CRP）、細菌学的検査（尿培養、血液培養）

【個人情報の取扱い】

個人情報が特定されないように、別途、個別化IDを用いる。

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院　診療科名：　担当者名：八木橋　祐亮

沖縄県うるま市宮里281番地

TEL：098-973-4111 （代表）